

man, people, human, person, 等の使用区分概念は？

当HPの記事「1月2日は書き初めの日、『ヒト』、『人』、『人間』(バックナンバ - 随想等関係() P 2005. 1. 2. : 参照)」を読んだ学生から、「では、英語の man(woman), people, human, person, などはどうなっているのでしょうか？」との問い合わせのメ - ル。

どうも私は英語は苦手で、さっぱり初歩的な知識もなし。そこで、この際、私も少し学びたいのでいつものようにメル友に助けを求めた。何人かのメル友から早速コメントをいただいた。私なりにまとめると次のようになります。理解不十分の点がありましたら、教えてください。

man : 「考えるもの」が原義 . 男女を問わず不特定の人。動物、妖精、神、幽霊などと区別して、人、人間、人類の意。

person : 他者と異なる、個性ある人間としての人、人間。人はその時々、状況によっていろんな役を演じている。個人を強調する意味合いが含まれているものと思われる。

people : person の複数形で、集合名詞。また、文化的・社会的にみた集団としての国民、民族、種族など。

これは「人々」という感覚に近いよう。

human : man とほぼ同じで、「人間らしい」, 「人間味」などを現す感覚に近いよう。

human being (人、人間)、mankind (人類) と同じよう。

「微妙なニュアンスとしての違いは、やはりネイティブの方にお尋ねになるほうがよろしいかと思います・・・。」とのコメントもいただいたが、こうしたことを尋ねるぐらいの英語力しかない私が、ネイティブ(母国語)の方に尋ねるなんて、とても、とても.....。

若い頃ある方に、「その国の日常生活の中でその言葉がどういった使われ方をしているかを体験し理解しないと、単に英和だけでは真に文化としてのその言葉の意味を理解したことにならないよ！」と教えられたことがある。

もう私にはそれは無理な話。でも、やはり色々知りたい！ みなさん、これから色々教えてください。

(2005 年 1 月 17 日 記)